杉森

杉並区立 杉森中学校
学校だより 第３２３号
平成２４年7月３日
平成２４年度　第3号

「 体育祭を終えて 」

副校長　田邊　克宣

体育祭が終わり早一ヶ月。天気に恵まれ、生徒たちの準備してきたことが心おきなく発揮でき、嬉しく思います。これも偏に、多くのご参観をいただいた保護者、ご来賓の方々、そして本校の教育活動に惜しみないご理解をくださっている近隣の方々のご協力あってのことと、この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、今年の体育祭スローガンは「一心団結」。聞き慣れない造語ですが、一目見て意味の通じる分かりやすい言葉だと思います。漢字の持つ表意という特性を存分に発揮した、素晴らしい感性がここにあります。そしてその意味は、まさに読んで字のごとし、心を一つに団結しようと、体育祭という行事の持つ学びの意義を端的に表したものです。

かつてさまざまな企業が会社を挙げての運動会を行い、また、市町村といった地域での開催もあったようです。楽しみながら集団の中で連帯感、団結力を高めるために、それは一つの有効な方法でした。が、種々の要因（経営状況や人間関係の希薄化等）により、規模の縮小や取り止めとなったところも多いようです。

寡聞にして恐縮ですが、どうも諸外国にはこの運動会というものがないらしい。そもそもはヨーロッパがその発祥の地ではあるものの、スポーツが分化した彼の地では、種目別の競技会はあるものの、全員が何らかの種目に出場し、得点を重ねて勝敗を競うという分化は日本独特のもののようです。

スポーツという視点でいえば、外国に活躍の場を求めて夢を追い、実現していく選手の姿が連日、報道されています。プロの世界は結果が全てであり、チームの中では自分の仕事を完璧にこなすことのみが求められる。逆にいえば、所属チームは、自分の力を高め、認めるためだけに存在する。双方の利害が相反すれば、チームを去るだけということです。幼いうちからそうした環境でスポーツに取り組む一面のある欧米のスポーツ文化と、日本の運動に対する意識には、勿論一概には言えませんが、違いがあることも確かなようです。

今回、体育祭を通して子どもたちが培った協力、連帯の気持ち、係として貢献する奉仕の心は、何ものにも代えがたい心の財産です。

近年２度の大きな震災から、日本のいわゆる集団性の高さがプラス面として世界的にもクローズアップされました。我先にと権利を主張するのでなく、概して譲り合い、助け合う場面が多くみられたことが、見習うべき人間性として大きく紹介されていました。

日進月歩の技術革新と国際化の最中にあって、次代に伝えるべき日本の良さの一つが、ここにあると思います。温故知新、杉森の子たちは、確かによき伝統を伝えています。

6月のアルバム

【 体育祭 】６／２（土）

晴天に恵まれた体育祭。

選手と係と応援が、心を一つにして作り上げました。

＜１年：サイクローバー＞

＜３年：ムカデ＞

＜２年　ローハイド＞

＜男子：大縄跳び＞

＜小中一貫　綱引き＞

＜女子：杉中ソーラン＞

【 ２年：キャリア教育 】６／８（金）

ハローワークより講師をお招きし、職場体験前の学習をしました。写真は、「正しい待機姿勢」の様子です。

【 学校公開 】

６／１１（月）～１３（水）の３日間、延べ１３０人の保護者、ご来賓に参観していただきました。

【 伝統芸能鑑賞教室 】６／２２（金）

体育室が演芸場に早変わり。

いつもと違う雰囲気の中、日本の伝統話芸を心より楽しみました。

【７月の予定】

２（月）保護者会／修学旅行説明会（３年）
４（水）小中合同研修会（会場：杉森中）
５（木）都学力調査（２年）
９（月）面談（３年）／職場体験（２年）（始）
１１（水）口腔保健指導（１年）
１３（金）面談（３年）／職場体験（２年）（終）

１６（月）海の日
１９（木）全校美化／普通救命講習（３年）
２０（金）終業式
２３（月）夏季休業日（始）

☆２学期始業式　８／２８（火）
８：２５登校　４時間授業　給食あり